

# JPDA 9月定例理事会議事録

日 時：平成30年9月12日（水）午後1時30分～午後6時40分

場 所：文京シビックセンター(区民会議室) 5階 会議室C

東京メトロ丸ノ内線・南北線「後樂園」駅前

出席者：理事24名中20名（伊藤 透、井上 聡、加藤芳夫、青木（入江）あずさ、  
牛島志津子、梅原 真、江藤正典、小川裕子、小川 亮、加藤（桑）和美、  
小原 司、高田知之、竹内清高、中越 出、中森恭平、信藤洋二、藤田 隆、  
三原美奈子、森 孝幹、山崎 茂）

監事2名中2名（池田 毅、時田秀久）

欠席届4名（畝野裕司、鈴木智晴、永田麻美、八木勇達）

議事録署名人： 伊藤 透、井上 聡  
池田 毅、時田秀久

## 議事の経過

定款第31条(議長)により伊藤理事長を議長に選出し、議長は直ちに本日理事会出席者22名を確認、定款第32条(決議)による出席者が過半数に達していることを確認し、定款第34条により議事録署名人が伊藤 透理事長、井上 聡副理事長、池田 毅監事、時田秀久監事の4氏であることを確認し、議事に入る。

(決裁事項の議案号数はゴシック。)

## 第1号議案 新入会員入会審査の件

本日の理事会までに、法人4社、個人5人から入会申込みがあり、定款6条並びに会員規定に基づき入会審査を行い、下記の入会を承認した。

### (1) 法人会員（4社）

<東日本>

1. エヌイグレック株式会社【推薦者：時田 秀久】
2. 日本たばこ産業株式会社【推薦者：太和田 俊輔】
3. アサヌマコーポレーション株式会社【推薦者：伊藤 透】

<西日本>

4. 株式会社BYTHREE【推薦者：和田野 香恵（(株)サンデザインアソシエーツ）】

(2) 個人会員（5人）

<東日本>

1. 山際 良（やまぎわ りょう）

【推薦者：垣本 幸治（(株)デザインフィーチャー）】

2. 山本 典弘（やまもと のりひろ）【推薦者：丸山 和子】

※山本氏はこれまで賛助会員でしたが、10月末で退会し（後述）、11月より個人会員への切り替えを希望されています。

3. 真野 元成（まの もとなり）【推薦者：丸本 彰一】

<中日本>

4. 田中 義貞（たなか よしさだ）【推薦者：時田 秀久】

<西日本>

5. 服部 俊幸（はっとり としゆき）【推薦者：時田 秀久】

## 第2号議案 退会承認の件

本日の理事会までに退会届を提出した個人会員4人、賛助会員1人の退会を承認した。

(1) 個人会員（4人）

<東日本>

1. 太和田 俊輔（たわだ しゅんすけ）【8月末退会希望】（法人会員への切替）

2. 高橋 美千代（たかはし みちよ）【平成31年1月末退会希望】

（パッケージ関連の業務がなくなるため）

<中日本>

3. 石川 千雄（いしかわ かずお）【7月末退会希望】

（5月に脳梗塞を患い、65歳を契機に仕事を整理するため）

4. 西尾 美紀（にしお みき）【7月末退会希望】

（企画等、パッケージデザイン以外の比重が大きくなったため）

(2) 賛助会員（1人）

1. 山本 典弘（やまもと のりひろ）【10月末退会希望】（個人会員への切替）

## 第3号議案 協会名義使用承認の件

本日の理事会までに下記8件の協会名義使用の依頼がありこれを承認した。

(1) 共催名義使用の依頼（2件）

## 1. 「富山デザインフェア2018」

【2018年9月28日～30日 富山市民プラザ】

主催：富山市（運営：富山デザインフェア実行委員会）

※合わせて同時期に開催される「デザインスクール」への講師派遣（中日本個人会員 朝日印刷(株) 原井 繁氏、中日本法人会員 富山スガキ(株) 川淵 満氏の2名)、及び、「日本パッケージデザイン展2018とやま」パッケージデザインコンペティションの審査員派遣（中日本個人会員 原井 繁氏）の依頼があった。

## 2. 展覧会「現代日本のパッケージ2018」及びフォーラム2018」

【2018年10月10日～12月9日 印刷博物館P&Pギャラリー】

主催：凸版印刷株式会社 印刷博物館

共催：一般社団法人日本印刷産業連合会（予定）、公益社団法人日本包装技術協会（予定）、公益社団法人日本パッケージデザイン協会

### (2) 後援名義使用の依頼（5件）

#### 1. 「おいしい東北パッケージデザイン展及びフォーラム2018」

【展覧会：2018年12月11日～16日 東北電力グリーンプラザ（仙台市）】

【フォーラム：2018年12月14日 仙台国際センター】

主催：東北経済産業局

※合わせて加藤専務理事の審査委員会委員長への就任を依頼があった。

#### 2. 「第12回メディア・ユニバーサルデザインコンペティション」

【応募：2018年9月3日～11月30日、審査：12月18・19日、

表彰式：2019年2月下旬～3月上旬】

主催：全日本印刷工業組合連合会

#### 3. 「学生照明展2019」

【セミナー・ワークショップ：2018年11月24日 ウシオライティング(株)

コンペティション・展覧会：2019年3月15～17日 The 8th Gallery目黒区】

主催：学生照明展2019 実行委員会

#### 4. JID創立60周年記念事業

主催：公益社団法人日本インテリアデザイナー協会

名義使用期間：承諾の日から平成31年3月31日まで

主な行事：JID60周年記念式典・記念講演（2018年11月22日 国際文化会館）

## 5. シンポジウム”think GLOBAL, think HONG KONG”

【2018年11月1日 ホテルニューオータニ東京】

主催：香港貿易発展局

共催：JETRO、経団連、日本商工会議所、東京商工会議所

### (3) 協賛名義使用の依頼（1件）

#### 1. 「第29回 西日本食品産業創造展'19」

【2019年5月15日～17日 マリンメッセ福岡】

主催：日刊工業新聞社

### 第4号議案 正副理事長報告

伊藤理事長、井上副理事長より、現状の活動状況についての以下の報告があった。

伊藤理事長報告：伊藤理事長は極力全ての委員会に出席するようにしているとのこと。

- ・7/19 デザイン保護委員会に出席
- ・7/20 西日本総会報告会と第1回勉強会「理事長講演：デザインを強くする秘訣」に講師として出席
- ・7/25 調査研究委員会に出席
- ・7/26 東日本委員会に出席
- ・7/31 D-8運営会議に出席
- ・8/ 2 国内交流委員会に出席
- ・8/11 東京デザイン会議会場視察
- ・8/21 東日本委員会に出席
- ・8/27 パッケージデザイン大賞一次審査会に審査委員長として出席
- ・8/29 パッケージデザイン大賞二次審査会に審査委員長として出席
- ・9/11 展覧会委員会に出席
- ・9/14 デザイン保護セミナーに出席予定

井上副理事長報告 ・7/20 西日本委員会 総会報告会と第1回勉強会に出席

- ・8/ 8 西日本委員会に出席
- ・8/17 総務委員会に出席
- ・8/27 パッケージデザイン大賞一次審査会に審査員として出席

- ・9/14 デザイン保護セミナーに出席予定
- ・9/21 西日本第2回勉強会に出席予定

#### 第5号議案 事務局の備品購入の件（承認事項）

- ・渡邊事務局長より、事務局内の老朽化した備品（椅子・液晶モニター等）を買い換えたいとの提案があり、購入・廃棄を含めて105,000円の費用が承認された。これにより事務局において10名までの委員会活動とWeb会議が可能となる。  
(いずれも1個10万円以下なので資産計上は不要。)

#### 第6号議案 JPDA紹介パネルの制作について（承認事項）

- ・渡邊事務局長より、PR活動の一環として、外部の展示会やイベント等で協会活動を紹介するパネル制作を進めたいとの提案があり、満場一致で承認された。  
(具体的な制作物と費用については別途提案。)
- ・桑理事より、展示会には海外からの入場者もあると思われるので、アスパックのパネルのように英語も加えたらどうかとのサジェスションがあった。

#### 第7号議案 JPDAデザイン学校計画について（60周年記念事業準備チーム）

- 小川（亮）理事より、「前回の理事会で提案したデザイン学校計画については、多くの理事から、この提案に反対はしないがかなり大きな事業になるので、慎重に進めるべきとのこと意見をいただいた。そこで、今後の進め方・内容を見直して、2019年は準備期間と位置付け、学校設立を進める前に、2020年の記念イベントとして、『素材からクリエイティブまで、60年のJPDAのノウハウを結集した8日間のパッケージセミナー』を開催したい。

終了後に参加者の評価・運営面の課題・費用収益を見直して継続できるかどうかを検討するとともに、講義のコンテンツはアーカイブ化（映像で保存）して、地方や参加できなかった会員にも活用できるようにしていきたいと考えている。

今日の理事会で、とりあえずこの形で進めてよいとの判断をいただければ、運営メンバーを募って、事務局の協力もいただきながら、準備を進めていきたい。」

<理事からの質問・ご意見>

- ◆どのような方たちがこのセミナーの対象となるのか？（伊藤理事長）
- ◆第一弾としては、企業のインハウスデザイナーやディレクターが中心になる。（小川亮理事）
- ◆現在自分の会社でも同様なことを始めているが、2020年は節目の年になると考えている。  
具体的には、AI化・グローバル・イノベーション等、周囲の環境は急激に変化してきており、そのような変化にどう対応していくのかというような時代性のある大きなテーマが見

えてくるとよいのではないか。(江藤理事)

◆ありがたいサジェスションなので、盛り込むように検討していきたい。(小川亮理事)

◆包装技術協会が出している包装管理士や包装専士の資格とか、日刊工業新聞がやっている通信講座とか、その辺とどう違うのかももう少し調べてはいかがか。(時田監事)

◆前回、包装技術協会・日経デザイン等、他の団体が進めている講座、資格等をご紹介してJPDAの講座の位置づけをお話ししたが、包装技術協会はハード中心であるのに対し、今回提案している内容はややソフト（マーケティング）よりのものを考えている。また、学校設立や資格付与はあくまでもこのセミナーの結果を見てから検討していくつもりである。

(小川亮理事)

◆すると、講座を聞くことが主体で、卒業試験があるということはとくに考えていないという解釈でよいか。(時田監事)

◆講座が終わってから卒業証書を出す等のイベント的なことは考えてもよいと思うが、今回は法的な資格を与えることまでは考えていない。(小川亮理事)

◆この内容はどちらかと言えば、大量生産・利益追求等大企業向けの感があるが、地域・手作り・小量等の多様性も見ることができるようなものも考えた方がよいと思う。(加藤専務理事)

◆その意味で、このようなパブリックなものではなく、例えば会員で個性のある工藤さんや信藤さんが語る学校のようなエッジの立った内容であればわかるのだが・・・。

(梅原理事)

◆おっしゃることはわかるが、この内容はベーシックなど真ん中のものをJPDAとして提供するべきではないかというのが発想の原点であって、そこまでエッジを効かせなくてもよいと思っていた。(小川亮理事)

◆企業が対象になるとのことだが、どちらかと言えば初心者向けのイメージがある。

(中越理事)

◆まったくの初心者というわけではなく、ある程度ベースを理解している中堅の方も対象になると思う。(小川亮理事)

◆この内容はデザイナーもさることながら、企画担当者向けとして最適だと思し、ニーズもかなりあると思う。(渡邊事務局長)

◆対象がデザイナーではないとすれば、この内容は理解できる。(梅原理事)

◆私は渡邊さんの意見に賛成である。今年度の活動方針にある「デザインを強くする」というのはデザイナーだけではなく、マーケティングに携わっている人たちも、デザインに対する認識を深め、意識を変えることは重要だと思う。(伊藤理事長)

◆確かに、社内でもデザインを全く知らない人が異動してくることは多々ある。

また、永田理事や小川裕子理事はクリエイターよりの内容を考えていると思うので、そこ

との住み分けも可能になると思う。(加藤専務理事)

◆いろいろご意見をいただいたが、今後検討進めていくことでよろしいか。(小川亮理事)

◆是非進めてください。(伊藤理事長)

## 第8号議案 委員会報告

### <承認事項>

#### ●西日本（6月の勉強会・総会報告会と交流会）

- ・三原理事より資料に基づいて、西日本勉強会 ここんVol.1「フランスと日本の現場から デザインを強くする秘訣」と5月の総会報告会についての活動報告があった。  
講演会、交流会を通して、いままで新理事長と話す機会がなかった関西の若い会員からも、伊藤さんのいままでの経験とその人となりに触れることができよかったという声が多く聞かれたとのこと。
- ・続いて中森理事から収支計算書についての報告があり、  
公益会計：収入57,000円、協会補助125,000円、支出132,914円、収支差額+49,086円  
法人会計：収入264,000円、協会補助0円、支出264,000円、収支差額0円  
を承認した。

### <報告事項>

#### ●コンペティション

- ・小原理事より資料に基づき、8月29日に第二次審査が終了し、大賞を含めた入賞作品が決定した日本パッケージデザイン大賞についての報告があった。  
13カテゴリーの応募総数：1,201点のうち入選・入賞は以下のとおり。  
入選：423点（一次審査）  
入賞：大賞1点、金賞10点、銀賞13点、銅賞11点審査員特別賞4点（二次審査）
- ・今後は入選、入賞者に案内が届いた後、WEB速報（リストのみ）を9月末頃（大賞は贈賞式まで未発表）、贈賞式は2019年1月31日（東京ガーデンパレス）
- ・加藤専務理事、梅原理事より、進行、司会が大変よかったとのコメントあり。
- ・また、山崎理事より、特別審査員の菊地氏から「議論が活発に交わされ、大変勉強になった」との意見をいただいたとの発言があった。

#### ●デザイン保護

- ・高田理事より資料に基づき、9月14日（金）に開催予定のセミナー「クリエイターのための知的財産権の基礎」についての案内があった（50名を越える申込みあり）。2019年3月に西日本でも同様のセミナーを開催するかどうかを検討していくとのこと。

## ●西日本

- ・三原理事より資料に基づき、9月21日に開催するセミナー「パッケージデザインのための Adobe CC勉強会」についての案内があった。すでに50名弱の申込みがあり、いままでの参加者とは異なる申込者が多いとのこと。

## ●東日本

- ・竹内理事より資料に基づき、10月19日（金）に新木場の倉庫で開催予定の『TALK CAFÉ S0-K0 パッケージデザインの「強さ」を探る』と交流会についての案内があった。

## ●教育

- ・永田理事が入院中のため、南谷事務局員から資料に基づき、10月29・30日にGOJO PAPER GALLERYで開催予定のセミナー&ワークショップ「パッケージの未来を考える」についての案内があった。

## ●出版

- ・山崎理事より資料に基づき、2018年10月10日～12月9日、印刷博物館P&Pギャラリーにおいて開催される「現代日本のパッケージ2018」について以下の案内があった。  
「本年は日本パッケージデザイン大賞の作品を展示するのではなく、5月に発刊されたパッケージデザインインデックスに掲載されている作品の中から「白」をテーマにしたパッケージデザインの作品を選別して展示することとしている。また、10月14日（日）には加藤専務理事をモデレーターにパッケージデザイナー4人のトークショーを開催する予定」

## ●展覧会

- ・中森理事より資料に基づき、10月4日～11日に京都しまだいギャラリーで開催される創作展「感じるパッケージデザイン展」と10月6日（土）に予定されている京都展・オープニングパーティーについての案内があった。

## ●アーカイブ

- ・青木（入江）理事より資料に基づき以下の報告があった。
  - ① JPDAの会員専用ページに「声のアーカイブ」コーナーを近々オープン予定。
  - ② 10月下旬に予定していた第1回トークショーは、出演者の承諾が得られず見送られることになった。人選を含めて仕切り直し、2019年3月開催予定で検討したい。
  - ③ 広く外部に対するPRを目的に、D-8の研究成果を展示する展覧会を開催する。  
また、2月7日に同じ場所で特別セミナーも開催する予定。

（2019年1月24日～2月14日 JIDAギャラリー）

## ●東京デザイン会議（国内交流+東日本）

- ・加藤（桑）理事より資料に基づいて、2019年1月25日（金）に開催予定の「東京デザイン会議+新年交流会」についての案内があった。  
「デザイン会議は京橋エドグラン29階のTOYO INK大会議室。そのテーマは” CROSSING

創造性の交差“とし、信藤理事を含む3人のクリエイターがそれぞれの創造性を語るトークセッション（伊藤理事長がファシリテーター）を展開する。

また、新年交流会は「TOKYOスタイリッシュDJナイト（仮称）」として、デザイン会議も含めた参加者間のクロッシングを促したいと考えている。」

#### ●広報

- ・中森理事から9月上旬に全会員と関係外部に送った新広報誌「JPDA MAGAZINE VOL. 1」についての紹介と2019年2～3月に発刊予定の第2号についての協力依頼があった。
- ・梅原理事をはじめ数名の理事から「いままでよりもわかりやすくしてほしい」とのコメントがあった。

#### ●インターネット

- ・中越理事より持込資料に基づき、JPDAサイトの更新状況、今後の更新予定、今年度の重点課題、2019年以降に向けての検討事項についての説明があった。

その中で、「大賞の贈賞式後の入賞作品の画像アップのため、審査会の翌日にインターネット委員会独自に入賞作品の撮影を行っている。結構な時間と手間がかかるので、関連委員会のご協力をお願いしたい」との依頼があった。

また、「この映像はWEBサイトに載せるだけではなく、贈賞式や外部からの掲載依頼（前回は日経デザイン）にも対応しているので、JPDAの財産として残すのであれば今後どうすればよいのかを考えてほしい。現在の、依頼があったときに対応するという受身のスタンスを変えるように考えていくべきではないか」とのコメントがあった。

<以下は出席者間でのディスカッション>

- ・今の広報委員会は広報誌の編集、発刊が主な仕事であり、その対応は難しいのが現状である。（加藤専務理事）
- ・出品者に写真をつけて応募してもらったらどうか。（江藤理事）
- ・確かに解決策ではあるがクオリティに個人差があるのは否めない。（小原理事）
- ・JPDA日本パッケージデザイン大賞を世の中に知らしめるという目的だとすれば、この問題をWEBだけに頼るのはいかなものかと思う。サイトにアクセスするのはすでにJPDAを知っている人や応募しようとしている人であり、不特定多数の一般の方はその内容について知らないと思う。今、コンペ⇒出版⇒巡回展に至るまで、関係している委員会が何をしているのかをまとめているところであり、次回理事会に報告したいと考えている。

（渡邊事務局長）

- ・それをもとに再度議論したいと思う。（伊藤理事長）

#### ●国際交流（海外視察）

- ・森理事から持込資料に基づき、2月10日～17日に予定しているシンガポール、インドネシアへの海外視察についての日程、視察の内容、渡航費についての案内があった。参加者数

の目標は最低20名とのこと。

#### ●アスパック

- ・森理事から持込資料に基づき、アスパックに関する5月以降の海外活動、国内で予定されている10月の国内最終審査、12月のアスパックウィークについての報告があった。

今年も国内審査、12月の最終審査について、事前準備のお手伝いをお願いしたいとのこと。

- ・加藤専務理事から、最終審査と責任者会議は伊藤理事長のみの出席でよいのかという確認があり、森理事からはそのとおりであるとの回答があった。

#### ●調査研究

- ・中越理事から持込資料に基づいて、現在の調査研究委員会の活動（世の中の動き、変化を捉えた中長期テーマの探索と委員会内の共有化）についての報告があった。

### 第9号議案 事務局報告

- ・渡邊事務局長より、以下の事務局報告があった。

#### 1. 2018年の事業スケジュールについて

- ・今後の理事会にも確認のため議案書に載せるので、他の委員会がいつ、何をしているのかを把握しておいてほしいとのコメントあり。

#### 2. JPDAの会員情報③（地区別分布）

- ・議案書にあるとおり、東京在住の会員が60%以上を占める反面、会員がいない県が13もあり、地区別に偏りが見られるとの報告があった。

※理事会終了後、江藤理事より宮城県には会員がいると思うとの指摘があり、2名の会員が確認されたので、修正した資料を後日全理事にメールで連絡した。

#### 3. 2019年度日本パッケージデザイン大賞入賞作品巡回展の運営について

- ・2013年～2017年の、費用を含めた開催実績の紹介の後、巡回展は大賞を広く世の中に知らしめる広報価値があると考えられることから、今後は出版委員会の公益事業として予算化した上で継続すべきとの提案があり、理事会の了解を得た。

合わせて、2019年以降は以下2点の課題があることが報告された。

① 作品保管場所確保の問題

② 開催地の日程が重なるともう1セット入賞作品の手配が必要

#### 4. 病欠理事へのお見舞金について

- ・規定により、畝野理事に5,000円（3週間入院）、永田理事に10,000円（1ヶ月入院予定）のお見舞い金を準備しているとの報告があった。

#### 5. 北海道地震についての被害状況

- ・北海道在住の会員（9名）に電話で被害状況を確認したが、8名から、とくに被害はなかったとの報告があった。

※理事会の翌日、連絡とれなかった1名からとくに被害なしとの電話があったので、その旨全理事にメールで案内した。

## 6. 協会名義使用依頼の詳細（別紙参照）

### 第10号議案 次回理事会開催の件

- ・伊藤理事長より、以下の次回理事会についての案内があった。

日時：平成30年11月14日（水）午後1時15分～5時00分（時間延長可能）

場所：文京シビックセンター（区民会議室） 5階 会議室 A

東京メトロ丸ノ内線・南北線「後樂園」駅前

### 第11号議案 アンケートに基づく協会活動に関するディスカッション（総務委員会）

- 総務担当理事でもある井上副理事長から、前回の理事会で了解を得た「デザインを強くする委員会活動」を具体的なものとするべく、「JPDAが優先して取り組むべきこと、そのために必要なものは何か」について、9月・11月・2019年1月の3回理事会でディスカッションしていくことの説明があった。

今回の理事会では、事前に全理事から提出していただいたアンケート（現在各理事が担当している委員会の2016年・2017年の活動実績とそれを通して伝えることができたJPDAの役割）をもとに、フリーディスカッションを行った。（各理事のアンケートは別紙参照）

- ・はじめに、委員会毎に担当理事一人一人からアンケートの内容を読み上げた。
- ・次に以下の4グループに分かれて、ディスカッションを行いグループ毎にディスカッションのまとめを発表してもらった。（ゴシックは発表者）

<Aグループ>（伊藤理事長、牛島、中越、信藤、森各理事、池田監事の6名）

- ・JPDAとして必要な機能は何かを明確化する必要がある。今、国内交流と東日本が一体となって東京デザイン会議の企画を進めているが、他には、例えば「大賞」。さきほど議論になったように、コンペから審査、撮影、出版、巡回展の流れがある。これをまとめたその流れの全体を統括する委員会もあり得るのではないか。
- ・そのくくりで考えると、重要度が高いものは「インターネットを含めた広報」、「出版」、「展覧会」、「東・中・西の地域交流」。それから「研究」としての調査研究、アーカイブ、さらに「総務」といったように、太い柱を立てるのがよいのではないか。

<Bグループ>（井上副理事長、小川裕子、小原、桑、藤田各理事、時田監事の6名）

- ・まず、『アスパックに関わっている人が多い。』、『委員会として長く続けているものが多い。』、『関東・関西それぞれがいろいろなことをしているが、関西の方がJPDAならではの活動をしているのではないか。それに比べると関東はスカしている（格好つけている）

ものが多いと感じる。』といった個々の意見が出た。

まとめると、これからは、JPDAならではの、やるべきことを決めていく必要があるし、そのためには委員会を見直して全体をまとめ直す必要があると考えた。

例えば、コンペ本部、展覧会本部のようにまとめたらどうか。多くの委員会が並列ではなく全体で決めていくことが必要なのではないか。

<Cグループ> (加藤専務理事、入江、竹内、三原、梅原※各理事、渡邊事務局長の6名)

※梅原理事は中途退席。

・中日本の北陸は頑張っているが、名古屋は少ない、西日本はまとまっているが、東日本はセミナーが多く委員会がかぶっているものが多い。まずその整理が必要。

活動の中で発信することは最も大切だと思うが、プレスリリースの制作等技術的なことも多く、それを全てインターネット委員会に委ねるのは難しい。やはり活動しているそれぞれの人の意識が重要だと思うが、まだどうすればよいのかの結論は出ていない。

次に、大賞はコンペ、アーカイブ、巡回展といくつかの委員会が関わっており、やはりこの事業を核にすべきではないか。

アスパックは学生対応の活動であり、今後アスパックをどうするかではなく、JPDAとして国内の学生とどう交流していくのが重要なポイント。例えば大賞の中や創作展の中に学生部門を作るとかの方法があると思う。

創作展はデザイナー（個人）の考え方。一方、デザイン保護は法人的な考え方。以前あった法人部会はなくなったが、先ほどの学校については法人が大いに興味を持つと思われるので、今後その辺をどうしていくのかを考える必要がある。

最後に、国際化は現地に言って視察することだけではなく、現地の人との交流が大事だが、言葉の問題があり今後の課題である。

<Dグループ> (江藤、小川亮、高田、山崎各理事、南谷事務局員の5名)

※当初メンバーに入っていた中森理事は16:00に退席。

・JPDAの活動は大きく分けて「ブランディング (PR・発信)」と「技術的な勉強」の2つだが、セミナーがかぶっていて数が多すぎる。また、活動全体が多すぎるわりに会員の数が増えていない。

アスパックなど個人に負担が大きいものがある。皆さんボランティアで一生懸命やっているが、中心となっている人がいなくなったらどうなるのか。中日本が象徴的である。そこで、各委員会がどういう人たちに、どのようなことをしているのかポジショニングマップのようなものを作成 (可視化) して、それを元に議論することが必要ではないか。

●グループ発表終了後、井上副理事長より「次回11月は今日の議論をタタキ台に、『私が考える未来のJPDA』について再度ディスカッションをしていきたいと考えている。後日今回程

度の宿題をお送りするので、よろしくお願ひしたい。」との発言があつた。

以 上